



# 大阪臨床整形外科医会会報

The Journal  
of  
The Osaka Clinical  
Orthopaedic Association

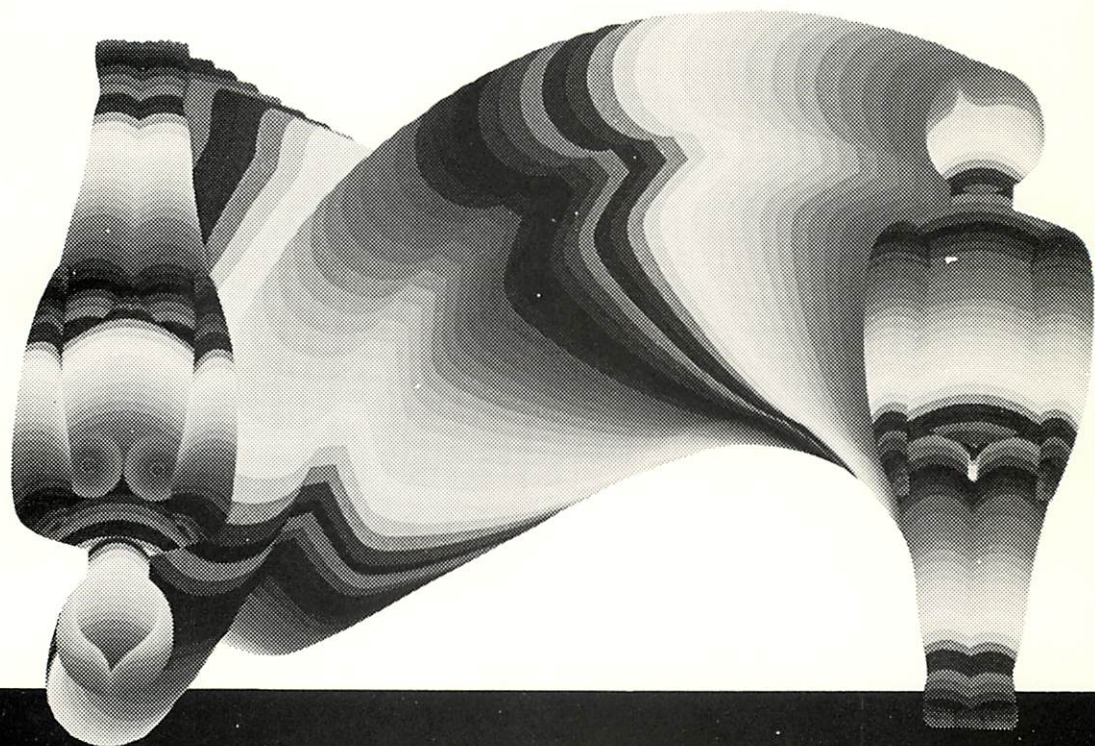


第2号

昭和60年4月



# 運動制限の原因となっている 疼痛の改善に



■ 筋緊張性疼痛疾患治療剤

## リンラキサー<sup>®</sup>錠

125mg・250mg



カルバミン酸クロルフェネシン製剤

● 健保適用

### RINLAXER

〈効能・効果〉運動器疾患に伴う有痛性痙縮：  
腰背痛症、変形性脊椎症、椎間板ヘルニア、  
脊椎分離・こり症、脊椎骨粗鬆症、頸肩腕症候群。

● ご使用の際は製品添付文書の用法・用量、使用上の注意をご覧ください。



大正製薬株式会社

急性・慢性疾患に対し、他剤に類をみない17の効果

非ステロイド性消炎・鎮痛・解熱剤

## オハイリン<sup>®</sup>錠

# 大阪臨床整形外科医会会報第2号目次

|                     |   |                 |    |
|---------------------|---|-----------------|----|
| <b>巻頭言</b>          | 会長挨拶 .....  | 坂本徳成 .....      | 1  |
| <b>OCOA総会報告</b>     | 第8回OCOA定時総会及び研修会 .....                                  |                 | 2  |
| <b>諸会議の報告</b>       |   |                 |    |
|                     | I 昭和60年第1回JCOA各県代表者会議報告 .....                           | 坂本徳成 .....      | 6  |
|                     | II 第8回JOCA近畿ブロック会報告 .....                               | 三橋二良 .....      | 10 |
|                     | III 大阪府医師会・医学会運営委員会報告 .....                             | 吉田正和 .....      | 10 |
| <b>役員</b> の抱負       | 副会長就任のご挨拶 .....   | 吉田正和 .....      | 11 |
| <b>研修会報告</b>        | I Mirosurgeryを応用した四肢の再建手術<br>..... 奈良医大整形外科助教授          | 玉井 進 .....      | 12 |
|                     | II OCOA第1回症例検討会報告記 .....                                | 大橋規男 .....      | 14 |
|                     | <b>【抄 録】</b>  |                 |    |
|                     | ① 肘関節内骨折の2例 坂本整形外科 坂本徳成                                 |                 |    |
|                     | ② Mallet Finger に対するDynamic Sprint の使用経験<br>坂本整形外科 坂本徳成 |                 |    |
|                     | ③ 変形性膝関節症に対する足底板の使用経験 大橋整形外科 大橋規男                       |                 |    |
|                     | ④ 保存的に経過観察した膝関節特発性骨壊死の1例<br>大森整形外科 大森佐一郎                |                 |    |
|                     | ⑤ Chance 骨折を伴った高位3椎体骨折と下腿骨折を伴った症例<br>星光病院 山本光男          |                 |    |
|                     | ⑥ 足関節踝部骨折後に発生した変形性関節症の1例<br>坂本整形外科 坂本徳成                 |                 |    |
|                     | ⑦ 足関節捻挫による距腓靭帯損傷 河合整形外科病院 河合秀郎                          |                 |    |
|                     | ⑧ 外傷性麻痺にて日常診療に訪れた4～5例 星光病院 山本光男                         |                 |    |
|                     | ⑨ 脊椎転移悪性腫瘍2例の反省 吉田外科整形外科 吉田正和                           |                 |    |
| <b>厚生部</b> だより      | 第1回親睦旅行の御報告 .....                                       | 村上白士・河合秀郎 ..... | 17 |
| <b>OCOA理事会</b> 議事録  | 第6回理事会 .....  |                 | 18 |
|                     | 第7回理事会 .....  |                 | 19 |
|                     | 第8回理事会 .....  |                 | 20 |
|                     | 60年新年理事会 .....  |                 | 20 |
| <b>会員名簿</b> 追加と住所変更 | .....   |                 | 22 |
| <b>訃 報</b>          | .....   |                 | 22 |
| <b>追 悼 文</b>        | 追 悼 .....   | 吉田正和 .....      | 23 |
| <b>お知らせ</b>         | (1)学術研修会 .....  |                 | 24 |
|                     | (2)症例検討会 .....  |                 | 24 |
| <b>OCOA役員名簿</b>     | .....   |                 | 24 |
| <b>編集後記</b>         | .....   | 瀬戸信夫 .....      | 25 |

## 会 長 挨拶

大阪臨床整形外科医会

会 長 坂 本 徳 成

1 昨年（昭和58年）12月、大阪臨床整形外科医会（O C O A）の総会で、現在のような組織が出来上り、除々にではありますが、着実にいろいろな行事が活動しはじめて、早や1年と4カ月が経過致しました。昨年12月の第8回O C O A総会も平穏に終了致しましたことは、この上もない喜びと存じます。これも一重に会員皆様方の強力な御支援、ご鞭撻のたまものと感謝致しております。

1 昨年、長崎での第10回日本臨床整形外科医会での研修会の際、NHKの医療プロジェクトのチーフディレクター行天良雄先生が、「将来の開業医像」と題して講演をされ、これからの医療について、先進国の間では、すでに医療行為も、治癒を期待する一つの契約と考えられ患者が来院して治療を受けるということ、つまり医者側の側から言えば、来院した患者に治療を施行するということは、治療費を媒体として、疾病が完治するという契約を結んだと考えられ、十分な治療及び完治が履行されなかった場合は、契約違反として、トラブルも起こりつつあるということでした。

しかるに、ここ日本においても、これからの高齢化社会にむけての医療行為は、今までの感染症を中心にした疾病構造に対するものから、治ったか治らないかわからないような疾病、つまり機能の回復が遅れている為、患者側から見れば、治ったと思われないような疾病構造への変化の為我々整形外科医は、病気を治すというよりも、むしろ機能退化を防止し、機能を回復させる医療コンサルタント的な形に変化していくのではないかという主旨の講演には、少くなくやずショックを受けました。このように医療そのものに対する考えが刻一刻と変化している社会情勢を考えます時に我々開業医としては、より高い最新の専門的な知識吸収の為に研鑽をつまなければならぬと思います。その為の一環としてO C O Aでは、日整会認定医継承の為に必要な、日整会の定める研修会を2回実施致しました。今後は、認定医研修委員会の定める細則により、それに応じた研修会を年数回実施していきたいと考えております。

又一方、昨年10月より健保法が改正され我々開業医をとりまく状況は一段と厳しくなり、事実全国的に、10～20%の収入減が余儀なくされております。この3月1日よりの保健点数改正も薬価の引き下げと相まって実質的なアップは望めないような現状であります。このような厳しい状況下において我々整形外科開業医は、一致団結し、J C O A、日整会、日医を通じて厚生省への要望を1つでも多く実現させていけるような会へ発展させていきたいと思っております。どうか引き続き御協力、御支援をお願いいたしまして御挨拶とさせていただきます。



第 8 回大阪臨床整形外科医会定時総会及び研修会

(昭和 59 年 12 月 1 日)

|            |                             |         |
|------------|-----------------------------|---------|
| ○ 総 会      | 午後 3.00 ~ 4.00              |         |
| 1. 開 会 宣 言 |                             | 司会 村上理事 |
| 2. 会 長 挨 拶 |                             | 坂本会長    |
| 3. 議 長 選 出 |                             | 松尾澄正    |
| 4. 議 事     |                             |         |
| 第 1 号議案    | 昭和59年度事業報告について              | 三橋副会長   |
| 第 2 号議案    | 昭和59年度会計報告について承認を求める件       | 山本・馬場理事 |
| 第 3 号議案    | 昭和60年度事業計画について承認を求める件       | 吉田副会長   |
| 第 4 号議案    | 昭和60年度収支予算案について承認を求める件      | 山本・馬場理事 |
| 第 5 号議案    | JCOA 学術振興基金拠出金について承認を求める件   | 坂本会長    |
| 第 6 号議案    | 昭和60年度役員変更について承認を求める件       | 坂本会長    |
| 5. 閉 会 宣 言 |                             | 吉田副会長   |
| ○ 研 修 会    | ( 4.05 ~ 5.30 )             |         |
| 講 演        | 「 Microsurgery を応用した四肢再建手術」 |         |
|            | 奈良医大整形外科助教授 玉 井 進先生         |         |
| ○ 懇 親 会    | ( 6.00 ~ 7.30 )             |         |

I 昭和59年度〇〇〇〇庶務及び事業報告

1) 会員状況

期首 (58. 12. 3) 76名                      期末 (59. 11. 31) 109名

2) 会議開催状況 (58. 12. 3 ~ 59. 11. 31)

① 総会 定時総会 (58. 12. 3) 於 ホテル南海

② 定例理事会 7回                      出席役員 延合計 73名

③ 臨時理事会 1回

④ その他諸会議出席状況

|           |                   |              |
|-----------|-------------------|--------------|
| 59. 1. 28 | 兵庫県臨床整形外科医会       | 於 神戸貿易センター   |
| 59. 3. 13 | 第6回JCOA近畿ブロック会議   | 於 京都市なかむら    |
| 59. 4. 22 | JCOA各県代表者会議       | 於 東京         |
| 59. 6. 23 | JCOA各県代表者会議       | 於 札幌第一ホテル    |
| 59. 6. 23 | JCOA総会10周年記念式典懇親会 | 於 北海道ベケレット湖園 |

59. 7. 15 第7回JCOA全国社保懇談会 於 東京
59. 7. 22 第1回OCOAGOLFコンペ 於 竜王CC
59. 9. 1 第7回JCOA近畿ブロック会議 於 神戸ポートピアホテル
59. 9. 10 大阪府医師会単科医会連絡協議会 於 自転車貿易振興会館
59. 9. 22-24 第11回JCOA研修会 於 宮城県仙台
59. 9. 22 JCOA各県代表者会議 於 宮城県仙台
59. 9. 22 JCOA全国保険懇談会 於 宮城県仙台
59. 10. 27. 28 OCOA秋の一泊懇親旅行兼、第2回OCOAGOLFコンペ 於 片山津CC日本海コース
59. 12. 1 OCOA総会 於 大阪メディカルホール
- 3) 研 修 会
58. 12. 3 「最近の骨折の治療」  
大阪府立病院整形外科部長 浜田博朗先生 於 ホテル南海
59. 2. 25 「老人に於ける整形外科的疾患」  
関西医大助教授 小川亮恵先生 於 日航ホテル
59. 5. 26 「最近のOA治療について」  
香川医大教授 上野良三先生 於 社会福祉会館
59. 10. 20 「消炎鎮痛剤の最近の進歩と応用」  
慶応義塾大学内科客員教授 勝 正高先生 於 薬業年金会館
59. 11. 10 第1回OCOAZEMO症例検討会 於 三和化学研究所メディカルホール
59. 12. 1 「Microsurgeryを応用した四肢再建手術」  
奈良医大助教授 玉井 進先生 於 大阪メディカルホール
- 4) OCOA NEWS (大阪臨床整形外科医会会報)  
第1号発刊 59. 8. 20
- 5) OCOA会則並びに会員名簿作成 59. 3.

## Ⅱ 昭和59年度会計報告

### 大阪臨床整形外科医会収支報告書

期間 自 昭和 58 年 12 月 1 日  
至 昭和 59 年 11 月 15 日

収支計算書並びに貸借対照表を作成し御報告申し上げます。

会計 山 本 光 男  
馬 場 貞 夫

#### 1) 大阪臨床整形外科医会

|       |           |
|-------|-----------|
| 前期繰越金 | 867,695   |
| 今期収益金 | 329,768   |
| 次期繰越金 | 1,197,463 |

#### 2) 大阪臨床整形外科医会貸借対照表

昭和 59 年 11 月 15 日現在

| 資 産 の 部 |           | 負 債 の 部 |           |
|---------|-----------|---------|-----------|
| 現 金     | 28,590    | 前期繰越金   | 867,695   |
| 普通預金    | 668,873   | 支出引当金   | 329,768   |
| 定期預金    | 500,000   |         |           |
| 計       | 1,197,463 | 計       | 1,197,463 |

#### 3) 大阪臨床整形外科医会 59年度会費納入状況

会員 109名 1,302,000円

#### 4) 大阪臨床整形外科医会収支計算書

自 昭和 58 年 12 月 1 日  
至 昭和 59 年 11 月 15 日

| 支 出               |           | 収 入          |           |
|-------------------|-----------|--------------|-----------|
| 日本臨床整形外科医会費(107名) | 428,000   | 広告代(大正製薬)    | 30,000    |
| 近畿ブロック会費          | 10,000    | 大阪医師信用(預金利息) | 8,728     |
| 兵庫臨床整形祝金          | 30,000    | 年会費(59年度分)   | 1,302,000 |
| 事務費               | 120,000   |              |           |
| 通信費               | 84,300    |              |           |
| 印刷費               | 44,700    |              |           |
| 役員交通費             | 94,000    |              |           |
| 役員出張費             | 179,800   |              |           |
| 慶弔費               | 10,000    |              |           |
| 雑費                | 10,160    |              |           |
| 収益金               | 329,768   |              |           |
| 計                 | 1,340,728 |              | 1,340,728 |

### Ⅲ 昭和60年度の事業計画について

- 研 修 会  
60年3月、5月、10月、12月の年4回開催予定  
(いずれも日整会認定医教育研修会として、認定単位がとれるよう配慮されています。)
- OCOA NEWS 年2回発刊予定
- 厚生部予定
  - 1) 第3回ゴルフコンペ(春)  
5月12日(日) 瀬田ゴルフコース
  - 2) 第4回ゴルフコンペ(秋)  
10月13日(日) 竜王GC
  - 3) 第2回旅行  
11月9日(土)～11(日) 白浜方面 国鉄にて往復
    - ・ 古賀之井 泊  
(白浜ゴルフ場(平草原)にてゴルフ、臨海研究所等見学)
    - ・ 割烹「なにわ」にて夕食
- 症例検討会の開催 6月15日(土)(於 大阪メディカルホール)
- JCOA各県代表者会議、その他諸会議出席
- 第9回近畿ブロック会議(9月7.8日)主催県として準備

### Ⅳ 昭和60年度収支予算案について

|        |                   |             |               |
|--------|-------------------|-------------|---------------|
| 〈収入の部〉 | 会 費               | 1,440,000.- | (12,000×120名) |
|        | 受 取 利 息           | 22,500.-    |               |
|        | 繰 越 金             | 1,197,463.- |               |
|        | 合 計               | 2,659,963.- |               |
| <hr/>  |                   |             |               |
| 〈支出の部〉 | 会 議 費             | 1,000,000.- |               |
|        | 総 会 費             | 400,000.-   |               |
|        | 研 修 会 費           | 600,000.-   |               |
|        | 分 担 金             | 500,000.-   |               |
|        | 日 本 臨 床 整 形 会 費   | 480,000.-   |               |
|        | 近 畿 ブ ロ ッ ク 会 費   | 10,000.-    |               |
|        | 大 阪 府 単 科 医 科 会 費 | 10,000.-    |               |
|        | 需 要 費             | 320,000.-   |               |
|        | 事 務 費             | 120,000.-   |               |
|        | 印 刷 費             | 100,000.-   |               |
|        | 通 信 費             | 100,000.-   |               |
|        | 交 通 費             | 350,000.-   |               |
|        | 役 員 出 務 費         | 100,000.-   |               |
|        | 役 員 出 張 費         | 250,000.-   |               |
| 予 備 費  | 489,963.-         |             |               |
| 合 計    | 2,659,963.-       |             |               |



## I 日本臨床整形外科医会(昭和60年第1回)各県代表者会議報告

日 時 昭和 60 年 3 月 17 日(日) 10.00 ~ 16.00

場 所 東京都医業健保会館 4階 第1会議室

会長 坂 本 徳 成

上記の日時、場所において三木仁会長をはじめ、高山・谷口両副会長、各理事、監事そして1人の欠席者もなかった各県代表者、総数57名の出席者を得て横関議長、中村副議長のもと今年最初の各県代表者会議が開催されました。三木会長の挨拶の後、次のような理事会報告がありました。

- 1) 59年事業報告、会計報告、監査報告、60年事業計画案、予算案(高山)  
(資料(1)(2)(3) 参照)
- 2) 会員状況(高山)  
S 60. 3. 1. 現在 2,931名。新入会員は53名。退会者は10名、内死亡退会者は5名。
- 3) 日整会評議員選挙結果(谷口)  
JCOAより32名立候補され、29名が当選されました。この4月6日の日整会評議員委員会(160名)の理事選挙には、JCOAより、金井、藤野、宮地の3名の先生方が立候補される予定であります。
- 4) JCOA役員改選の件  
会長、副会長、監事、議長、副議長は現在通り、又新理事も満場一致で承認されました。
- 5) 学術集会について(日整会認定医教育研修会を含めて)(原田 雅)  
原田雅弘担当理事、信原委員長の下で、JCOA学術集会を年に一回開催出来るように努力中であります。現時点で日整会認定医研修会の単位制はトライアルとされているが、同研修会委員12名で目下みなおし検討中であります。(資料(4) 参照)
- 6) 日整会社保委員会について(原田 雅)  
JCOAからは藤野先生が日整会社保委員として日医を通じて出席され、厚生省とのパイプ役をはたされております。
  - ① 技術料、プライマリーケア、救急医療点数の新設。
  - ② 創傷処理、骨折整復等、頻度の高いものの点数アップ。
  - ③ 整形外科的慢性疾患指導料 Riemenの整復料、救急時の挿管料その他。
- 7) 医業経営委員会報告(高瀬)  
年2回行こなわれ、非医師の医療類似行為が問題となっている。法律で規定されているものは、柔道整復師、あんま、鍼灸等規定されていないものとしてカイロ等があります。
- 8) 60年第12回JCOA研修会について(富田)  
現時点では参加者が少ないので多数の参加要請がありました。
- 9) 61年第13回JCOA研修会について(栃木県)  
栃木県、高瀬会長のもとで行われます。
- 10) JCOAスポーツドクターに関する件(高山)  
日体協がスポーツドクターを認定しているので混乱をきたしています。JCOAからも日整会を通じてスポーツドクターを認定するよう要請中であります。
- 11) 会誌編集委員会報告(原田 裕)  
10周年記念特集号を4月に各会員に発送予定であり、続いて次号の準備中でありますので、各会員の投稿を要望されております。
- 12) 第8回西太平洋整形外科学会参加ツアーについて

各会員に資料を発送済みです。国際学会に出席した際にも日整会研修単位が取得出来るよう日整会に働きかけをしております。

13) その他

- ① 健保法改正後について（藤野）  
全国的に各県とも10～20%減収。患者数で15～20%の減少。社保とともに国保も減少の傾向にあります。
- ② 自賠責保険について（高瀬）
  - 日医を窓口にして損保会社の中央組織と折衝。
  - 特別の事情がない限り支払いの遅れはない。
  - 日整会社保委員会の中に社保、労災、自賠責委員会がある。
  - リサーチ会社と弁護士が共同で調査にやってくる。

○ 1点20円が60%以上。

③ JCOA会員による学術集会のご案内（高山）

- 4月7日 9.30～11.00  
パネルディスカッション I
- 4月8日 8.30～10.00  
パネルディスカッション II
- 4月8日 10.15～11.45  
ワークショップ

以上のプログラムが日整会学術集会におこまれています。JCOAの皆様、多数御参加下さい。

④ 全国的に破傷風が多発しています。トキソイド、テタノブリン及びガンマグロブリン等々を御準備下さい。

（各県代表者会議資料抜粋）

資料（1）

日本臨床整形外科医会昭和59年事業報告

（昭和59年1月1日～昭和59年12月31日）

- 1月8日（日）理事懇談会 9.00～15.00（静岡焼津）
- 1月21日（土）58年会計監査
- 2月26日（日）第1回JCOA理事会 10.00～16.00（東京ホテルパシフィック）
- 3月20日（火）日本臨床整形外科医会 会誌第11号発行
- 3月31日（土）常任理事懇談会開催 16.00～19.00（大江戸）
- 4月21日（土）常任理事懇談会開催 18.30～21.30（大江戸）
- 4月22日（日）JCOA各県代表者会議開催 10.00～16.00（東京土木建築厚生会）
- 5月26日（土）常任理事懇談会 16.00～20.00（大江戸）
- 6月21日（木）JCOA選出の日整会評議員相談会 12.00～14.00（北海道京王プラザホテル）
- 6月23日（土）JCOA各県代表者会議開催 12.00～13.00（札幌第一ホテル）
- 6月23日（土）JCOA総会と懇親会・JCOA10周年記念式典 18.00～20.00（北海道サッポロビール園）
- 6月24日（日）日本整形外科学会学術集会
- 7月14日（土）研修会事務局長座談会 17.00～20.00（大江戸）
- 7月15日（日）第7回全国保険懇談会 10.00～16.00（東京土木建築厚生会）  
講演 厚生省医務局、総務課長 古川貞二郎  
日本医師会 常任理事 吉田 清彦
- 8月6日（月）常任理事会開催 17.30～20.30（大江戸）
- 8月15日（水）日本臨床整形外科医会会誌特集号発行・パネルディスカッション「整形外科の技術評価」
- 8月15日（水）日本臨床整形外科医会会誌特集号発行（第7回全国保険懇談会）
- 8月26日（日）第2回JCOA理事会開催 10.00～16.00（東京ホテルパシフィック）
- 9月22日（土）、23日（日、祭日）、24日（振替休日）  
第11回JCOA研修会開催（宮城）出席者290名、同伴者178名  
＊ 第10周年記念行事
- 9月22日（土）各県代表者会議開催 16.30～18.00（仙台東急ホテル）
- 9月22日（土）第8回全国保険懇談会開催 16.30～18.00（仙台東急ホテル）
- 9月23日（日）懇親会開催 19.00～21.00（仙台東急ホテル）
- 9月24日（月）学術講演（JCOA10周年記念講演）8.30～11.00
- 10月27、28日 第20回全国身体障害者スポーツ大会に協賛（奈良）
- 11月26、28日 自賠責保険について、日医会長その他関係者と話し合う
- 12月1日（土）常任理事会開催 16.00～20.00（大江戸）
- 12月2日（日）全国保険審査委員会開催 10.00～16.00（東京都医業健保会館）
- JCOAニュース 年5回発行

資料(2)

## 日本臨床整形外科医会収支計算書

### 1) 収入の部

(昭59.1.1～昭59.12.31)

| 科 目             | 予 算 額      | 決 算 額      | 差 異       | 備 考 |
|-----------------|------------|------------|-----------|-----|
| 会 費             | 8,640,000  | 12,055,500 | 3,415,500 |     |
| 賛 助 会 費         | 1,500,000  | 3,362,756  | 1,862,756 |     |
| 廣 告 費           |            | 3,010,000  |           |     |
| 雜 収 入           | 2,100,000  | 5,299,200  | 1,439,920 |     |
| (内 訳)           |            | (内訳)       |           |     |
| 三 慶(郵 送 費)      |            | 82,800     |           |     |
| ラ ジ オ 短 波 手 数 料 |            | 447,120    |           |     |
| 預 金 利 息         |            | 331,989    | 331,989   |     |
| 前 期 繰 越 差 額     | 9,516,801  | 9,516,801  | 0         |     |
| 収 入 合 計         | 21,756,801 | 28,806,966 | 7,050,165 |     |

### 2) 支出の部

(昭59.1.1～昭59.12.31)

| 科 目          | 予 算 額      | 決 算 額      | 差 異       | 備 考                        |
|--------------|------------|------------|-----------|----------------------------|
| 事 務 所 設 置 費  | 480,000    | 480,000    | 0         |                            |
| 事 務 人 件 費    | 4,000,000  | 3,879,418  | 120,582   |                            |
| 通 信 郵 送 費    | 3,300,000  | 3,053,782  | 246,218   |                            |
| 旅 費 交 通 費    | 3,500,000  | 2,295,280  | 1,204,720 |                            |
| 会 議 費        | 2,700,000  | 1,341,489  | 1,358,511 |                            |
| 慶 弔 費        | 300,000    | 171,100    | 128,900   |                            |
| 印 刷 費        | 5,500,000  | 4,331,335  | 1,168,665 |                            |
| 第11回研修会補助金   | 1,200,000  | 1,200,000  | 0         |                            |
| 消 耗 品 費      | 100,000    | 46,820     | 53,180    |                            |
| 運 搬 費        | 100,000    | 33,520     | 66,480    |                            |
| 雜 費          | 126,801    | 240,490    | Δ 113,689 |                            |
| 臨 時 職 員 費    | 300,000    | 302,701    | Δ 2,701   |                            |
| 加 入 権        |            | 161,600    | Δ 161,600 | { 専用電話<br>ファクシミリ<br>(ワープロ) |
| 什 器 備 品      |            | 610,490    | Δ 610,490 |                            |
| 身体障害者スポーツ競技会 | 150,000    | 90,000     | 60,000    |                            |
| 支 出 合 計      | 21,756,801 | 18,238,025 | 3,518,776 |                            |
|              | (翌年繰越金)    | 1,056,894  |           |                            |
|              |            | 28,806,966 |           |                            |

繰越金内訳

預金残高 3,518,173

定期預金 7,050,768

10,568,941

総収入 28,806,966

総支出 18,238,025

10,568,941

資料(3)

## 日本臨床整形外科医会昭和60年事業計画案

(昭和60年1月1日～昭和60年12月31日)

- 1月26日(土) 医業経営委員会
- 2月3日(日) 広報委員会
- 2月8日(金) 59年会計監査
- 2月10日(日) 常任理事会 12.00～17.00 (貿易センター会館)
- 2月22日(金) 会誌編集委員会 19.00～21.30 (大江戸)
- 2月24日(日) 第1回理事会 10.00～16.00 (東京ホテルパンフィック)
- 3月17日(日) JCOA各県代表者会議 10.00～16.00 (東京都医業健保会館)

- 3月末日 10周年記念会誌発行予定
- 4月6日(土) JCOA選出の日整会評議員相談会 12.00～14.00 (長良川ハイッ)
- 4月7日(日) JCOA各県代表者会議 12.00～13.00 (岐阜会館)
- 4月7日(日) JCOA総会と懇親会 17.00～20.00 (岐阜会館)
- 4月7日～8日 JCOA各県外科学会学術集会 (岐阜、赤星会長)
- 6月30日(日) 第9回全国保険懇談会 10.00～16.00 (東京都医業健保会館)
- 8月25日(日) 第2回理事会 10.00～16.00 (東京ホテルパシフィック)
- 9月14日(土)～16日(月) (振替休日) 第12回JCOA研修会(横浜市)
- 9月14日(土) JCOA各県代表者会議 14.00～15.00 (ホテル、ホリディンヨコハマ)
- 9月14日(土) 第10回全国保険懇談会 15.00～17.00 (ホテルホリディンヨコハマ)
- 9月15日(日) 懇親会 19.00～21.00 (ホテル、ホリディンヨコハマ)
- 9月16日(月) 学術講演 8.30～12.00
- 12月1日(日) 全国保険審査委員会 10.00～16.00 (東京都医業健保会館)
- JCOAニュース年5～6回発行
- 会誌13号発行

#### 資料(4)

### 日本臨床整形外科医会学術集会並びに日整会認定医

#### のための教育研修会の実施について

標記の問題については、JCOA学術委員会の信原克哉委員長から既に次のような答申を戴いておりますが、その実施にあたっては尚検討すべき多くの問題を抱えております。

しかしながら、日整会認定医のための教育研修会は実際の発効にさきがけて各地で実施の機運にありますので、地区地域での教育研修会の実施要領を簡単に説明致します。

#### ★ 日整会認定医教育研修会開催手続きについて

1. 将来日整会認定医は、2年に12単位(1講師を1単位とする)以上の研修会受講が必要となります。
2. 認定医は2年毎にその期間内の受講証明書の写しを中央資格認定委員会に送付することになるので、各人は受講証明書を保存しておかねばなりません。
3. 以上のために教育研修会を開催しようとする場合は、日整会事務局あてに次の要領で手続きを完了してください。

#### ★ 実施手続き要領

- a) 講師の資格は、原則として大学講師以上および、これと同等以上の人を適格とします。
- b) 受講費は、1日あたり1万円を超えないものとします。また講師謝礼は資料製作費を含めて1時間あたり3万円となっています。受講費、講師謝礼は、主催者の都合で多少の増減があってもやむを得ないとされています。

★ 日整会教育研修会としての認定手続きの要領は以上の通りですが、その講習会の規模につきましてはいろいろの場合があるかと存じます。

- (主催者例) 1) A市整形外科研究会  
B地区整形外科懇談会

- 2) C県臨床整形外科医会  
D県整形外科研究会
- 3) E、F、G数県規模で開催される整形外科研究会(例、北陸～)
- 4) ブロック単位で開催される整形外科学会(例、中国四国～)
- 5) 関東震災、中部日本震災、西日本震災、など大規模学会
- 6) 日整会学術集会、JCOA研修会など全国規模学会

以上のうち地区の臨床整形外科医会として関係が深いものは、1)～4)と思われる。地元大学、地区の研究会などと緊密な連携をとって開催日、演者、講演内容等を調整の上臨床整形外科医会独自で、あるいは地元大学、地区の研究会と共催の形で効果的に教育研修会を企画実施してください。

★ 2年間に12単位の受講ということは現実問題として困難な場合も考えられますので、これを補完する意味でもJCOAとして対策を考えております。

★ JCOAとしての全国規模の学術集会につきましては引き続き学術委員会および理事会で検討いたします。

※ また昭和63年までは、この教育研修会はあくまでトライアルで現在行われている教育研修会で発行されている受講証が認定医の資格維持に有効であるとは決まっておりません。当分の間点数などにこだわらず色々ご研さんください。

しかし各地区での臨床整形外科医会としての教育研修会は活発に行ってその実施に馴れておく必要があろうかと存じます。

## Ⅱ 第8回日本臨床整形外科医会近畿ブロック会報告

副会長 三 橋 二 良

昭和60年3月9日(土)白浜 ホテル川久に於て午後5時より会議が行われた。

参加者は大阪4、京都5、兵庫2、滋賀3、奈良3、和歌山7、計24名であった。

### 1) JCOA理事会報告(59年9月24日)

京都、野口先生報告

- ① 59年事業報告、監査報告、会計報告、60年事業報告、予算につき報告。

59年12月31日現在、JCOA正会員2923名、賛助会員36名。

会計収入2,880万円

60年度予算25,568,941円、会費は80%の収入状況である。

- ② 学術振興基金は現在852万925円、60年3月末でJCOA会員数は2,926名、会費納入83%である。
- ③ 日整会の理事の立候補者としてJCOAより29名、近畿地区より5名である。
- ④ JCOA役員改選について  
会長、副会長は保留、理事は野口、荻原先生、議長は留任、各種委員会委員は担当

理事が決定してから

- ⑤ 日整会認定医研修会は現在受講者にノルマはない。
- ⑥ JCOA研修会開催は横浜の次は、来年栃木県にて行なう。その次は未定である。
- ⑦ スポーツドクターは日整会より出そうとしているが、もし出なければJCOAより出す予定。
- ⑧ 広報委員会よりJCOAニュースを3回発行した。

2) 近畿ブロック会の協議会報告について、3月17日荻原(兵庫)、岩井(奈良)、の両先生をJCOA理事として選出することに決定した。

3) 次回近畿ブロック会開催(60年9月7日(土))について、大阪の坂本会長より説明がなされた。

会議終了後、宴会場にて大変にぎやかに宴会が行われ、和気あいあいの内に充分親睦の実を挙げて終了した。翌日は白浜ゴルフ場に於て、親睦ゴルフコンペが行われた。

## Ⅲ 大阪府医師会・医学会運営委員会報告

副会長 吉 田 正 和

OCCOAが大阪府医師会から、13番目の単科専門医会として認知されたのに伴い、坂本会長の御推進に基づいて、1月9日付で表記医学会の運営委員を委嘱されました。

医学会と言うのは、「医学・医術の研究とこれに関連する事業をおこない、生涯教育の充実と地域医療の推進につとめ、医学の進歩向上を図る」目的で、(1)医学会の開催、(2)専門医会および各種関係団体との協調、(3)医学の研究と情報

の交換、(4)生涯教育の実施、(5)府医師会医学雑誌の刊行、(6)医学研究に対する奨励及び表彰、その他を企画・実行する部門で、府医師会員をもって組織されます。

医学会会長は稲葉府医会長で、副会長は橋本府医副会長と坂本阪大医学部長。この3名と運営委員27名とで委員会を構成、一方で166名の評議員会があり、OCCOAからも三橋副会長と大橋・山本両理事が入っています。

1月～2月の御報告をいたします。

- (1) 第10回運営委員会（1月21日）
  - ① 60年度の医学総会は、11月10日開催の予定とする。
  - ② 3月度の学術講演会等とその内容を決定（全会員へのピンク色の「お知らせ」の分）。
  - ③ 59年度医学研究奨励費助成公募を行なう、締切は2月20日に。
  - ④ 生涯研修等懇談会の開催決定。
  - ⑤ 学術講演会に、一般教養的なもの等も今後加えることを検討。
- (2) 生涯研修、専門医・認定医・家庭医制度等の問題に関する懇談会（2月9日太閤園にて）

出席者は稲葉会長以下の府医役員、医学会運営委員、勤務医部会役員。日医の生涯教育推進会議座長の阿部慈恵医大学長が講演（要旨は府医雑誌に）され、引続き活発な質疑・討論が行なわれた。
- (3) 第11回運営委員会（2月25日）

- ① 4月度学術講演会等を決定。
- ② 医学研究奨励費助成の申請56件につき審査・進考、300万円の予算内に納めるのに苦心、個人8万円・グループ13万円として採否を決定したが、開業医・勤務医とも申請件数激増し、対応が難しくなっているので、進考基準等の再検討をも論議。
- ③ 大阪府漢方臨床医会からの単科専門医会認知申請があったが、60年4月1日発足予定であることその他の事情を考え、しばらく実践活動状況を見守った上で、と保留になった。
- ④ 4月30日に、テンプル大学の先生から生涯教育プログラム等の話を聞く会を持ちたい、との提案を可決し理事会へ提出。

（次回運営委員会は3月25日に予定）

〔COCA会員の先生方も、60年度の研究奨励費助成の御希望がありましたら、どしどし申請されれば良いと思います〕

## 役員 の 抱 負

### 副会長就任のご挨拶

日本臨床整形外科医会が生まれて早や10年が経ち、私達の大阪臨床整形外科医会もまた大きく成長しました。此処までに育て上げる苦勞をなさって下さった、越宗・稲松・原諸先生他の先駆者の方々に深い敬意と感謝を表しますと共に、その後を仰せつかった者の一人として、責任の重大さとそれを果たすことの難しさを痛感して居ります。

もともと、日本整形外科学会等の運営にも開業整形外科医の声を反映させようとして出発した色彩が濃かったのだと思いますが、今日では日整学会員の開業医数が飛躍的に増大したこともあって、臨整医会の重要性も自主性も非常に高まって参りました。

共に手を携えて整形外科医療の向上を目指して行動し、私達開業医の持つ多様性と独自性を生かしながら、共通の利益・権利をも守って行くこうとする基本姿勢が地に着いて来たと申してもいいでしょう。日整会認定医資格更新時の必要講習単位も臨整会主催のものを認めてもらい開業医が受講しやすく且つ日常診療に密接なテーマ・内容のものを、自分達の手で企画・実行

副会長(学術担当) 吉 田 正 和

して行く努力がなされつつあるものもその一つの現れです。無論、認定のみが目的ではなく、医師の責務である生涯研修の一助としてのことです。教養・社会性等をも深める多面的な勉強の機会を創って行くことが大切であろうと考えます。

私達誰しもがひしひしと感じている様に、医療は今や未曾有の危機に立たされています。よりよい医療を、より多くの人々に受けて頂くためにはまた、医学以外の諸問題にも眼を向けることが必要でしょう。健康と生命、人間性と平和を尊重しようとする限り、私達の頭上に現にブラ下がっている数多の「デモクレスの剣」(核兵器から点数改訂までの)に気づかぬ訳には参りません。

私達の会も、内に向けての親睦・磨き合いの努力と同時に外に向かっても、一層団結して諸種の連係活動をしなければならぬ時期に到っているのではないかと思います。

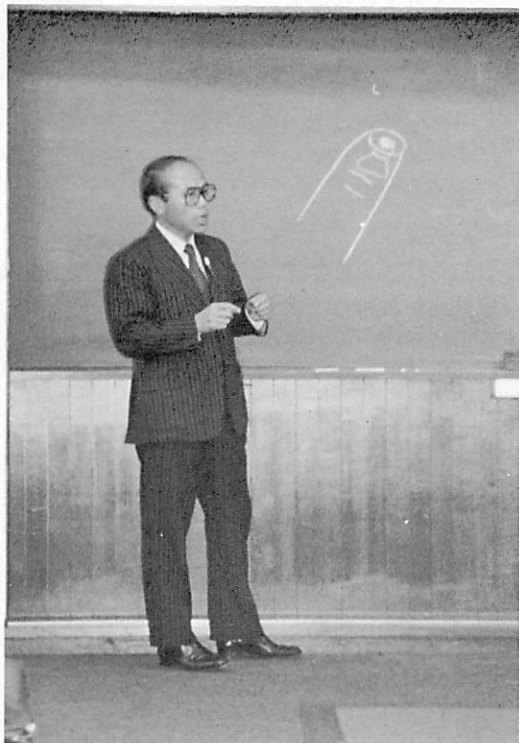
会員諸先生方の今後共の御鞭撻をお願い申し上げます。

## I Microsurgery を応用した四肢の再建手術

(講演要旨)

奈良医大整形外科助教授

玉 井 進



四肢の各種再建手術に用いられる microsurgery は、microdissection technique 顕微剥離術をベースとした microvascular surgery 微小血管外科と microneurosurgery 微小神経外科が主体となる。最新の手術用顕微鏡、手術器具と縫合材料を用いて熟練された microsurgen の手にかかれれば、外径 0.5 mm の血管を吻合したり神経束 funiculus 同志を縫合したり移植したりすることは決して難しいことではない。日本全

国で百数十の病院において、この分野での、すなわち、整形外科、形成外科方面の microsurgery を手がけている医師が約 300 人いるのが現状である。従って、最近では本邦におけるこの分野の地域差はあまりみられなくなり、どこへ行っても再接着術や各種の組織移植が受けられるようになった。開業医として多忙な日常診療の傍、microsurgery を応用した再建術を手がけている人もある。日常診療中に診た患者に現代の最新の治療を受けさせるためには、自分でやればそれにこしたことはないが、少なくともこの方面の知識をもっておれば、適宜判断を下して、適当な病院に患者を紹介できるはずである。

microsurgery を駆使すればどんな手術が可能であるか？ 表に示すごとく、簡単なものとしては損傷血管や神経の縫合、移植から、各種複合組織の再接着や移植まで、実に様々な再建術がおこなわれている。

切断肢、指再接着術はすでに 1/4 世紀の歴史を有し、日常茶飯事の手術となっている。再接着成功率は 90% 前後が常識となり、いまやいかにして機能的に有用な再接着肢、指に回復させる



かが課題である。また、欠損した指の再建法としては、足指の手への移植、wraparound flapと呼ばれる足母指からの爪を含めた4週間の皮弁移植と遊離腸骨移植との組み合わせ、足背皮弁と腸骨移植との組み合わせなどがある。

四肢における広範な組織欠損に対しては、従来からの有茎皮弁移植に代って遊離皮弁移植が盛んとなった。巧くゆけば1回の手術で移植可能である故に、患者の負担は軽い。しかし、皮弁を栄養している小さい血管を吻合するので失敗の危険もある。この手術に用いられる皮弁はある特定の血管によって栄養されている axial-pattern flap と呼び、groin flap や deltopectoral flap がその代表的なものである。しかしこれらはその栄養血管が細いため、最近では血管

の太い筋皮弁 musculocutaneous flap (例えば、広背筋皮弁) がよく用いられ、高い成功率が得られている。

筋肉の欠損に対しては、遊離筋肉移植が可能で、運動神経を縫合することにより、筋肉の機能を再獲得させることもできる。

また長管骨の欠損や難治性の偽関節に対しては血管柄付骨移植が有用である。腓骨、腸骨、肋骨、中足骨などが血管柄付で移植できる骨であり、同時に皮膚や筋肉とともに移植することも可能である。`生きた骨`の移植としては目下注目されている。

整形外科、外傷外科において microrurgery の占める役割は極めて大なるものがある。

| 頭 微 外 科    M I C R O S U R G E R Y         |                  |
|--|------------------|
| 鏡 下 剥 離 術    M i c r o d i s s e c t i o n |                  |
| 血 管    V a s c u l a r                     | 神 經    N e u r o |
| 血管再建術                                      | 末梢神経外科           |
| 血管吻合並に静脈移植術                                | 神経剥離術            |
| 血栓・塞栓摘出術                                   | 神経吻合並に移植術        |
|  | 切断肢・指その他複合組織再接着術 |
|  | 趾の手への移植術         |
| 皮弁移植術                                      | 神経血管付皮弁移植術       |
| 血管付骨移植術                                    |                  |
| 腓骨   |                  |
| 肋骨   | 骨皮弁移植術           |
| 腸骨   |                  |
| 血管付関節移植術                                   |                  |
|  | 神経・血管付筋肉移植術      |
| 大網移植術                                      |                  |
|  | 筋皮弁移植術           |

## Ⅱ OCOA第1回症例検討会の報告

大橋 規 男理事

新執行部が誕生した昭和58年12月の第1回理事会で、従来の学術講演以外に会員による症例検討会形式の勉強会を持つと云う話が出、その後の理事会で色々検討された結果、学会や集談会のような固苦しい会ではなく我々が日常の診療で気付いた点や困った症例等を持ち寄って気楽に話し合えるような会として発足しようとする事になった。しかしまだ会員相互のつながりも薄く、しかも第1回でお互いに様子が分からないため担当者としては会が始まるまで心配と不安で一杯であった。会が始まると来場された先生方の熱意がそんな不安を一掃してしまい、

活発な意見や質疑応答が次々と出され予定の2時間を1時間以上も超過するような状態となった。我々担当者の不手際もあって当初の目的を十分に達成出来なかった点もありますが、最後までこの会の運営に御協力頂きました先生方に対しまして厚く御礼申し上げます。今後、回を重ねるにつれて先生方の御要望に沿って会を色々アレンジしていきたいと思っていますので宜しく御願います。第2回は本年6月15日(土)に開催致しますので多数の御参加を希望しています。

### 報 告 事 項

- 第1回症例検討会開催日 昭和59年11月10日(土)
- 開催場所 大阪メディカルホール(三和化学研究所 5F)
- 参加人数 28名

### ○ 第1回症例検討会演題並びに抄録

#### 1. 肘関節内骨折の2例

坂本整形外科 坂本 徳成

症例1. 36才、女性、OL、S58年11月9日転倒事故、S58年11月10日当科初診、初回X-P2方向には、骨折線の位置的関係が明確でなかった為に副木固定を施行し経過を見た。3日後、腫脹が多少消退し、再度のX-P検査の結果、上腕骨外顆部関節内骨折を証明し、更に骨片の反転を伴っていた為に、観血的整復の適応と考えられ、患者の家の近くの市民病院へ紹介した。

このような関節内骨折の治療指針を御教示賜わたくし症例を提示しました。

症例2. 24才 男性、銀行員、S58年10月1日転倒事故、S58年10月3日当科初診、X-P上に右肘関節内剥離骨折を証明した。24日間(3.5W)の副木固定、其の後、温熱及び変形徒手矯正を続行。S58年12月27日ROMO~120、S59年2月2日ROMが略正常となり、レ線上は不十分であったが、一応症状固定とした。

S59年11月6日現在、ROM正常、X-P上にOA変化なし。

保存的治療にてほぼ完治したと思われた肘関節内剥離骨折の症例。

#### 2. Mallet Finger に対する Dynamic Splint の使用経験

坂本整形外科 坂本 徳成

約5年前より当院では Mallet Fingerの保存的治療として、Dynamic Splint を使用している。今回S56年4月より59年8月迄の3年5ヶ月間にSplintを装着した51症例(51関節、男性47、女性4)について検討した。

受傷、治癒時のレ線比較、外観上の変形の有無、DIP関節の屈伸(ROM)の総合判定により優・良・可に分類した。

51例中、I型は19例(37%)で優12、良4、可3であり、II型は優15、良3、可1(計19例37%)、又、III型は優5、良7(計12例24%)となっており、IV型は1例(2%)で可であ

った。指別では、環指が28例(55%)で半数以上を占め、次いで中指、小指、示指であった。

Mallet Finger に対する Splint 療法は、IV型には不適と考えられるが、I・IIないし症例を選べば III 型でも使用出来る有用な保存的治療法の様である。

### 3. 変形性膝関節症に対する足底板の使用経験と荷重位レ線撮影の試み

大橋整形外科 大橋規男

変形性膝関節症 108 例に荷重レ線撮影を施行し非荷重位のレ線像と比較検討した。レ線変化の軽度は Grade 1 及び 2 に属する 27 例では荷重による影響は殆んど無いか又は軽度で治療成績も良好であるのに反し、中等度以上の変化のある 81 例では荷重によって関節裂隙が更に狭少化したものが 53 例ありその中でも著明な変化即ち関節裂隙が荷重によって殆んど消失してしまうような 41 例では、保存的治療成績が不良と思われるものが 21 例見られた。

荷重により内反・外反の強い症例 16 例に足底板を使用して経過観察中であるが、重症例を除けば歩行痛・歩行能力の改善等良好な経過をとる症例が多いように思われるので引き続き症例を増やしながら検討したい。

### 4. 保存的に経過観察した膝関節特発性骨壊死の 1 例

大森整形外科 大森佐一郎

足底装具を装着し保存的に経過を観察し得た症例を呈示し、以下の諸点について御教示を得たい。①この症例の場合、経過から見て発症の時期はいつか。②病因は骨壊死とされているが、外傷説もある。諸先生のお考えはいかがか。③保存的治療の主眼は免荷と考えられるが、足底装具の効果はどの程度のものか。

### 5. Chance 骨折を伴った高位 3 椎体骨折と下腿骨折を伴った症例

星光病院 山本光男

Smith. W. S. & Kaupr. H. らによって報告されている Chance Fracture の比較的珍しい報告で症例♀ 23 才。S 59. 6, 交通事故、Chance 骨折を伴う、高位 3 椎体骨折、一過性腰仙神経不全麻痺症例について報告。

### 6. 足関節踝部骨折後に発生した変形性関節症の 1 例

坂本整形外科 坂本徳成

23 才、男性、S 58 年 2 月 27 日、スキー中に左足部を捻転し、3 月 11 日当科初診で左腓骨踝部骨折を証明した。転移を伴わない亀裂骨折で、年令的にも化骨良好と考えられ、湿布と包帯固定及び理学療法、約 4 週間で治癒したものと思われた。其の後、1 年 6 ヶ月後の S 59 年 9 月 26 日同足関節痛を訴え来院した。X-P 上にて疼痛の原因と考えられる過剰化骨形成による OA 様変形が認められた。

初回来院時にギブス固定を施行しておれば、簡単に治癒していたであろうと反省された 1 例でした。

### 7. 足関節捻性による距腓靭帯損傷

河合整形外科病院 河合秀郎

整形外科外来に足関節捻性で来院する患者は甚々多い。Watson-Jones の inversion test が陰性でも、手術により、靭帯の断裂していた症例を最近数例経験したので報告した。

内反捻性の場合の損傷靭帯は Lig. talofibulare ant. が殆んどで Lig. calcaneofibul や Lig. talonaviculare の損傷はあまりみられなかった。単なる捻挫といえども、テーピングだけにたよらず、ギブス固定の必要性を痛感した。

手術成績はすべて良好である。保存的療法で時に遷延治癒する例もあるので、初診時症状が強い場合、レントゲンであまり instability のみられない症例でも手術療法を試みてもよいであろう。

## 8. 外傷性麻痺にて日常診療に 訪れた4～5例

星光病院 山本 光 男

最近の交通事故、労務災害、スポーツ外傷は日増に激増する傾向で、我々整形外科へ種々の多彩な病名を合併し、訪れる事も少なくないこの頃です。

家庭、学校、職場と多方面にわたって救急搬走された、最近の症例4～5例の治験を報告いたします。

- a. 左上腕骨果上骨折(完全) + 外果骨々折 7才 左正中腕骨神経不全麻痺の非手術例。
- b. 右上腕骨果部骨折 + 内果骨々折 12才 右外傷性尺骨神経麻痺の手術例
- c. 大腿骨複雑骨折 34才 坐骨腓骨神経不全麻痺の手術例
- d. 右股関節外傷性脱臼に大腿骨々頭部分骨折 15才 一過性坐骨神経麻痺の手術例
- e. 両手指開放性第2～5中手骨々折 18才 非手術例

## 9. 脊椎転移悪性腫瘍2例の反省

吉田外科整形外科 吉田 正 和

- ① S、9生、女、商社事務員で主婦、8年前からの職業性頸腕障害治療の経過中に、第3～5胸椎に発生し、発見に手間取った epidermoid type cancer の症例。
- ② T、12生、女、主婦、5ヶ月前に左鎖骨骨折でギブス治療を受け、そのための肩関節拘縮と五十肩様疼痛及び数日前からの腰痛で受診し、第4腰椎の無分離り症がある他に第11・12胸椎に lymphosarcom が発見され、後で鎖骨は病的骨折であったことも判った例。

どちらも、疼痛と麻痺が進み、それぞれに他の病院で手術を受けたが、初発病巣不明のまま死亡した。

これらの診断と家族への告知、転医の手配、

手術や病理診断への関与などについて私の経験した問題点を、他院のレントゲンフィルムやカルテコピーをお見せしながら、至らなかった諸点の反省を混えて述べる。

初診時の主訴が腫瘍以外の疼痛疾患である場合は、特に気をつけなければ、腫瘍の発見が遅れるおそれが大きいことをも強調しなければならない。

お世話をおかけし、また快くデータを御教示頂いた、兵庫医大整形外科・大阪回生病院整形外科・豊昌会林病院の皆様へ厚く御礼を申し上げます。

## 第1回親睦旅行の御報告

昭和59年10月27日(土)～28日(日)、素晴らしい秋晴れに恵まれ、第一回の親睦旅行に出かけました。

参加人員が予定より大巾に減り、8名となりましたので急拠、旅程を組直し、大阪駅より国鉄雷鳥にて加賀温泉に向い、山代温泉「ホテル百萬石」にて楽しい一夕を過しました。

翌日はゴルフ組と観光組にわかれ、ゴルフ組(7名)は、片山津ゴルフ場日本海コースで1ラウンド、折からの好天と快適な気候に好スコアが続出しました。(別表)

観光組は残念乍ら、1名となりましたが周辺の史蹟をタクシーで観光致しました。

午後2.00、ゴルフ組、観光組とも安宅の関、料亭「長沖」で合流し、新鮮な魚料理を賞味しつつ、なごやかに話し合いました。

帰路は再び国鉄雷鳥を利用し、楽しく談笑しつつ、時間も忘れて大阪駅に着き、午後8時過ぎに解散しました。

厚生担当理事 村上 白士  
河合 秀郎

参加者が少いのは残念でしたが、快適な気候と晴天に恵まれ、終始和気あいあいとした楽しい旅行でした。

今年は、11月9日(土)～10日(日)に白浜温泉を予定しております。「ホテル古賀の井」で宿泊し、翌日は観光又は、白浜ゴルフ場(平草原)でのゴルフの後、割烹「なにわ」に集合して魚料理を賞味する予定です。

多数の皆様の参加をお願いします。

### 第2回ゴルフコンペ成績表 (59.10.28.片山津ゴルフ場)

|                            | HP | G   | N  |
|----------------------------|----|-----|----|
| 優勝 中川 英 隆                  | 19 | 91  | 72 |
| 2位 大橋 規 男                  | 14 | 87  | 73 |
| 3位 三橋 二 良                  | 17 | 91  | 74 |
| 4位 篠原 良 洋                  | 27 | 102 | 75 |
| 5位 坂本 徳 成                  | 26 | 103 | 77 |
| B.B 河合 秀 郎                 | 16 | 99  | 83 |
| メーカー 村上 白 士                | 14 | 98  | 84 |
| B.G.大橋 D.C.篠原・篠原 N.P.中川・中川 |    |     |    |



第6回理事会 (59.9.26)

- 1) 単科医会連絡協議会(9月10日)の報告
  - ① 10月1日より本人1割負担について  
定額あるいは定率のどちらを選べばよいか。  
定額はメリット少なく、大勢は定率。
  - ② 新しい医師会館内に、単科医会事務局用の室を要求。現段階では実現無理。各、単科医会へは、現在府医会より、年50,000円が支給されている。その増額をはかってはどうか。
  - ③ 各単科医会の負担金は現在5,000円。  
来年は2月より10,000円とする。
  - ④ 専門医の認定と臨床医会  
若い先生方が就職をされる際、専門医を望まれるので、認定医の要望が強い。
- <宿題>次回、各医会より2つ技術料アップを要望するとすれば、何と何になるか?
- 2) JCOA社保懇(9月22日於仙台)の報告
  - A) 59.3月の改定時の影響のアンケート  
2,780通中 約400通回収  
10%前後、件数、点数とも減
  - B) 59.3.改訂時の不合理な点
    - ① 薬価基準を下げるならば、技術料をアップしては?
    - ② 内科再診と外科再診の格差  
(65点と38点の格差)  
内科再診と外科再診に2分するのではなく各科再診料としては……(例えば、眼科再診料、耳鼻科再診料等々)
    - ③ 慢性疾患指導管理料  
根拠があいまいであり、200点、220点に分けた根拠もあいまいである。
    - ④ 検査のまるめに対する反対運動。
    - ⑤ 処置の技術料が評価されていない。
    - ⑥ ブロック時におけるステロイドの併用を認めよ。
    - ⑦ 理学療法、何もかも一つにひっくるめられては困る。
  - ⑧ 手術においても技術料のアップを。
  - ⑨ 長期入院の場合は、治療費が下っていくので、病院経営にも影響が出て来る。
  - ⑩ 今回の改正は大病院に厚く小病院には薄いかたより。
- 3) 各県代表者会議(9月22日於仙台)の報告
  - ① 会員状況  
8月末で2,879名
  - ② 評議員選挙について  
59.9現在在席者によって60.2施行。  
JCOAとしては現在の24名から25名へ。
  - ③ 医業経営委員会報告とこれからの報告
    1. 非医師の医療行為がどの程度まで許されるか。
    2. 地方自治体が老人医療保健センターを建設中であるが、整形外科医を必ず入れるように。
  - ④ 特集号及び10周年記念誌発行に関する報告  
広告代 216万円 > 4万円の黒字で事務費用 212万円 務局へ  
各県の名物、写真を原田先生へ。
  - ⑤ JCOAニュース事務局だより発行について  
原田先生が理事になられたので。  
来年の3月まで拡大近畿ブロックが担当(担当理事 野口先生)
  - ⑥ 今後の会議予定  
総会及び懇談会 1回、研修会 1回、理事会 2回、各県代表者会議 3回、保険懇談会 2回。
  - ⑦ 専用電話、ファクシミリ導入の件  
予定あり、男子職員も1人雇用予定。
  - ⑧ 慶弔規定について  
各県役員については2万円花料の形で。各県会員については各県で独自に。
  - ⑨ 広報委員長の交代について  
⑤参照。

- ⑩ 第12回神奈川県研修会について  
60年9月13日、14日、15日、16日  
JCOA News Vol3, No. 5を参照
- ⑪ 中村裕先生の葬について
- ⑫ その他
  - ・ 学術振興基金  
1人 3,000円  
残高を確認の上、総会で承認後、会費より捻出。
  - ・ 賛助会員の件 現在 87
  - ・ SICOT 84、JCOAより23名出席。
  - ・ 若草国体(10月27、28日)身体障害者大会にJCOAより盾を送る。
  - ・ 理事会報告  
医事紛争、ワークショップ、プライマリーケア。
- 4) 近畿ブロック会の報告  
「事務局だより」Vol 1. No. 7参照。
- 5) 症例検討会の件  
今まで演題が1例もなく10/20〆切で再度応募ない場合は理事で症例を考える。
- 6) 第1回親睦旅行の件  
9名参加予定  
10/27 雷鳥23号 山代温泉泊(ホテル百万石)  
10/28 ゴルフ班(片山津ゴルフ)  
          (観光班  
          雷鳥26号(19時25分 大阪着)  
費用 55,000円位
- 7) OCOAニュースの件(第1号)  
費用 39,500円  
          ( 30,000円 オパイリン広告代  
          9,500円 実費  
内容 新役員の抱負、報告  
          理事会報告  
          JCOAの事務局だよりからの抜粋、会員名簿の追加。  
次回は総会の報告と症例検討会の報告。  
今回投稿されていない役員の方々も投稿。  
60.2月の評議委員の選挙に向けてのPR。
- 8) 12月1日OCOA総会の件  
学術講演会

奈良医大 玉井先生(1単位)  
今年度事業報告、来年度事業計画、決算報告、予算案  
10月17日理事会 AM 8.30～

- 9) その他
  - イ) 馬場康夫先生死亡退会の件  
OCO Aより10,000円の御香典
  - ロ) JCOAニュースの件

## 第7回理事会 (59. 10. 17)

- 1) 昭和59年度OCO A総会及び研修会について
  - ④ 学術研修会について  
札幌の日整会総会で専門医としての研修を2年間で12単位取得することが決定したが、果されなかった場合のことなど未定である為、それまでは漸定的に学術研修会を出るだけ行う。現在いろいろの講演会が検討されているが、来年度は、大体、年に4回(2、6、10月と総会)、日整会の単位取得可能な会にすることとする。
- ⑤ 昭和60年度厚生部予定
  - ① 第3回ゴルフコンペ(春)  
5月12日(日) 瀬田東コース
  - ② 第4回ゴルフコンペ(秋)  
10月13日(日) 竜王GC
  - ③ 第2回旅行  
11月10日又は17日、白浜方面、国鉄にて往復、古賀之井泊、白浜ゴルフ場にてゴルフ・臨海研究所等見学、割烹「なにわ」にて夕食
- ⑥ 総会について  
12月1日  
総会 3.00～4.00  
講演会 4.00～ 会費2,000円  
懇親会 6.00～  
司会 村上理事  
議長 松尾先生  
59年度事業報告 三橋副会長  
60年度事業計画 吉田副会長  
会誌について 瀬戸理事



59年度会計報告 馬場理事  
役員について

越宗先生・稲松先生、顧問へ  
原先生幹事へ

河井秀郎先生(和歌山医大卒)を理事へ推薦

2) その他

㊦ 学術振興基金について

10周年記念で表彰された人が各2万円、  
一般会計から12万円拠出し、合計30万円を  
大阪の拠出金として、12月1日の総会で承認  
を得た後、本部へ送金する。

㊧ 症例検討会について (大橋理事)

1例でもあれば行う。行う、行なわない、  
いずれの場合でも総会の通知と一緒に発送  
する(予定通り11月10日開催)

㊨ 日整会評議員選挙に当会より伊藤成幸理事  
推薦。

臨時(第8回)理事会 (59.12.1)

1) S 59.12.1 総会時の各理事の分担

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 司会              | 村上理事  |
| 59年度事業報告        | 三橋副会長 |
| 59年度会計報告        | 山本理事  |
| 60年度事業計画        | 吉田副会長 |
| 60年度収支予算案       | 山本理事  |
| JCOA学術振興基金供出金の件 | 坂本会長  |
| 60年度役員変更の件      | 〃     |
| 閉会宣言            | 村上理事  |
| 研修会 座長(講師紹介も含)  | 吉田副会長 |
| 謝辞              | 大橋理事  |
| 懇親会 司会          | 三橋副会長 |

2) その他

イ) 府医々学会運営委員会に入会

委員 吉田副会長  
評議員 三橋副会長・大橋理事・山本理事

ロ) 11、10、O C O A 症例検討会の反省

京阪神集談会との関係・次回よりテーマ  
を決めて行う・長期継続へ努力

ハ) 新理事 河合先生 厚生担当

ニ) 大阪府医師会報にO C O Aより投稿 瀬戸理事

ホ) 親睦旅行の報告

60年度新年理事会 (60.1.19)

1) JCOA近畿ブロック会について

日時 S 60.9.7~9.8

場所 大阪全日空ホテル 6F

「花梨」にて広東料理

ゴルフ 関西ゴルフ

2) 昭和60年度総会及び学術集会について

総会日程 S 60.11.16

会場 三和化学 メディカルホール

学術集会

3/9 最近の脊椎外科の進歩

奈良医大講師

岩崎洋明先生

5/18 プライマリーケアについて

高山瑩先生

総会時 大阪市大

島津教授

(総会の日時は島津教授の都合により巾をもたせる)

6/15 症例検討会 三和化学メディカルホール

昨年と同じような方向で再度行ってみる

3) O C O A News 第2号について

瀬戸理事……府医師会、医学会へO C O  
Aの紹介記事

O C O A News を会誌に変えて年2回位  
発行

O C O A 会誌第2号

○総会の記事

○玉井先生の講演の抄録

○症例検討会

○親睦旅行について 村上理事・河合理事

○第1号以後の議事録及び事務局だより  
抜粋

○会員の異動

馬場先生の追悼文を市大の先生へ

○一般会員の投稿をつのる

2月末日頃迄とし、応募要項記事と一緒に

60年度症例検討会の件・60年度親睦旅行  
の件・総会の予告等を掲載する

4) その他

府医々学会入会の報告 吉田副会長

会長 稲葉会長

副会長 橋本 博副会長

〃 坂本 幸成 阪大医学部々長

OCOAより運営委員 吉田副会長  
評議委員 大橋理事・三橋副  
会長・山本理事

1/21 運営委員会(P M 3.00 ~ )

- (1)医学会の開催
- (2)専門医会及び各種関係団体との協調
- (3)医学の研究と情報の交換
- (4)生涯教育の実施
- (5)大阪府医師会医学雑誌の刊行
- (6)医学研究に対する奨励及び表彰
- (7)その他必要と認める事項

5) 単科医会連絡協議会からの要望書について  
今後このようなことに関して、いち早く  
情報を集め検討、研究していくべきである。

#### 附記事項

- 1) JCOA近畿ブロック会のゴルフについて  
関西ゴルフが当日マンスリーにあたっている為ビジターのスタートが遅くれる模様で、  
城陽カントリークラブと折衝中、城陽が無理な場合は瀬田C.C。
- 2) 60年度総会について  
日時 講師、島津教授の都合により12月7日へ変更。  
会場 三和化学メディカルホールは当日先約がある為使用不可能、レストランパレス、大正製薬学術ホール(関目)等を検討中。

### 厚生部よりお知らせ

秋のゴルフコンペと一泊旅行の予定は下記の様になっております。

① 第4回ゴルフコンペ(秋)

10月13日(日) 竜王GC

② 第2回旅行

11月9日(土)~11日(日) 白浜方面 国鉄にて往復  
・古賀之井 泊 白浜ゴルフ場(平草原)にてゴルフ

## 会員名簿追加と住所変更

### 。 会員名簿追加

| 〒      | 氏名                | 開業<br>勤務別 | 医療機関名称         | 医療機関所在地                 | 電話番号                       | 自宅住所                        | 電話番号            |
|--------|-------------------|-----------|----------------|-------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------|
| 544    | いなつぎはやと<br>稲次 征人  | 開業        | 協同診療所          | 大阪市平野区小路東<br>2-6-20     | 06<br>752-5075<br>751-3336 | 〒630-01<br>生駒市真弓2-6-12      | 07437<br>8-1675 |
| 536    | なかもとまなぶ<br>中本 学   | 〃         | 中本整形外科         | 大阪市城東区関目<br>1-14-17     | 06<br>931-5510             | 〒535<br>大阪市旭区新森<br>3-16-10  | 06<br>952-0306  |
| 557    | もりやすひろ<br>森 泰寿    | 〃         | 森整形外科          | 大阪市西成区岸里東<br>2-14-22    | 06<br>661-4978             |                             |                 |
| 599-02 | たまいたけひろ<br>玉井 丈博  | 〃         | 玉井整形外科<br>内科医院 | 泉南郡阪南町下出492             | 0724<br>71-1691            | 同左                          | 0724<br>71-1691 |
| 582    | にししゅうすけ<br>西 周助   | 〃         | 西整形外科          | 柏原市国分本町<br>1丁目9-4       | 0729<br>78-6240            | 同左                          | 0729<br>78-6240 |
| 533    | つじなもすけ<br>辻田 典    | 〃         | 辻田外科           | 大阪市東淀川区淡路<br>2-13-8     | 06<br>322-2830             | 同左                          | 06<br>323-5735  |
| 577    | ひらいしやうぞう<br>平井 象三 | 〃         | 平井整形外科         | 東大阪市荒本西<br>4の66         | 06<br>789-8171             |                             | 0742<br>43-9866 |
| 541    | ないとうかずお<br>内藤 一男  | 〃         | 内藤外科<br>整形外科医院 | 大阪市東区道修町<br>3丁目24 錦江ビル内 | 06<br>231-1281             | 〒622<br>西宮市神呪町2-16          | 0798<br>52-0719 |
| 569    | はつとりようじ<br>服部 良治  | 〃         | 服部整形外科         | 高槻市安岡寺町2丁目<br>13-5      | 0726<br>87-2800            | 高槻市安岡寺町3丁目<br>3番8号          | 0726<br>88-2832 |
| 536    | わたりやすお<br>亘 康男    | 〃         | 亘整形外科          | 大阪市城東区鳴野東<br>2-10-9     | 06<br>961-3587             | 〒560<br>豊中市東豊中町3丁目<br>29-16 | 06<br>840-2118  |

### 。 住所変更

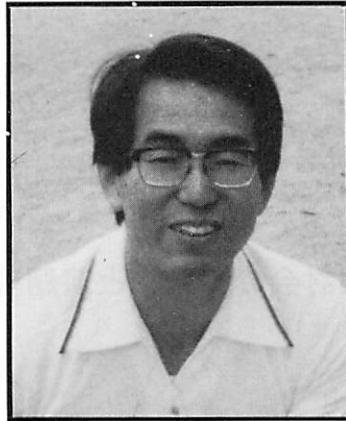
| 〒   | 氏名            | 開業<br>勤務別 | 医療機関名称 | 医療機関所在地                  | 電話番号            | 自宅住所                             | 電話番号 |
|-----|---------------|-----------|--------|--------------------------|-----------------|----------------------------------|------|
| 572 | すがこうじ<br>菅 厚二 | 開業        | 菅クリニック | 寝屋川市香里本通町<br>7-33 一カビル3F | 0720<br>31-6655 | 寝屋川市香里本通町<br>10-4<br>龍宝マンション507号 |      |

## 訃 報

・下記のO C O A会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表し御冥福をお祈り致します。

| 氏名    | 自宅住所 | 死亡年月日           |
|-------|------|-----------------|
| 馬場 康夫 | 堺 市  | 昭和 59 年 8 月 5 日 |

## 追 悼 文



馬場康夫先生遺影

## 追 悼

本会員馬場康夫医学博士は、昭和59年8月5日、白血病のために亡くなられました。会員を代表して、坂本会長がお悔みに参りました。

先生は、昭和13年9月9日大阪市生れ、府立住吉高校、大阪市立大学医学部卒で、昭和39年4月大阪市大整形外科入局、大学病院・住吉市民病院・大野病院に勤務の後、昭和54年8月から堺市八田西町2-9-23で開業して居られました。昭和49年9月に学位を取得された論文は「慢性関節リウマチの下肢機能障害に対する高位胫骨骨切り術の研究」と題する大変立派な内容のものであったことから分る様に関節リウマチや変形性関節症についての学識には特にすぐれて居られました。

何時も優しい顔で控え目に話される紳士で明晰・誠実なお人柄でしたが、その一方、市大柔道部の猛者であったそうで、入局後もよく市川現大阪体育大教授や広橋現市大講師等の教室先輩方と共に乱取りをして居られた由です。

これからが働き盛りの有為な仲間を失ない、まことに痛恨の極みです。心から御冥福をお祈り致します。

市大病院御入院中は、同教室の柿本・岩瀬両先生が診療所を守って下さり、亡くなられた後は3年先輩の江口享先生が国立泉北病院を辞して引受けて下さって居ります。この様な厚い友情が、死期を悟っても乱れずに苦しい療養に耐え、教室員一同への感謝と別れの言葉を書き綴ってさえ居られた先生の御心を和ませ、今もまた御霊を安らかならしめていることと思います。

副会長 吉 田 正 和

## お知らせ

### (1) 学術研修会の御案内

演題：整形外科に於けるプライマリー・ケア

講師：日本臨床整形外科医会副会長 高山 瑩先生

日時：昭和60年5月18日(土)午後3時

会場：大阪商工会議所402号室(東区大阪国際ホテル東隣)

この研修会は日整会教育研修会として認定されますので受講証明書御希望の方は当日会場で2,000円をそえて御申込み下さい。(保険医協会と共催で行われます。)

### (2) OCOA第2回症例検討会の御案内と演題募集

①日時：昭和60年6月15日(土)午後2時30分より

②場所：大阪市淀川区宮原4-3-5 大阪メディカルホール(三和化学研究所5F)

③演題締切り日：昭和60年5月20日

④演題申し込み先：〒535 大阪市旭区新森2-5-3 大橋整形外科 大橋規男

⑤演題募集要項：日常診療で診断・治療に困った例、反省例、ワンポイントアドバイス、開業医に直結した症例を御願ひします。

## OCO A 役員名簿

|     |            |            |               |              |
|-----|------------|------------|---------------|--------------|
| 顧問  | 越 稲        | 宗 松        |               | 正 滋          |
| 会 長 | 坂          | 本          | 徳             | 成            |
| 副会長 | 吉 三        | 田 橋        | 正 二           | 和 良          |
| 理 事 | 黒伊 大大村山馬瀬河 | 瀬藤 橋村上本場戸合 | 寅成 規清 白光 貞信 秀 | 次幸 男一士 夫夫 夫郎 |
| 監 事 | 本 原        | 田          | 寅 省           | 二 郎 吾        |

# 日本整形外科学会教育研修会認定書

昭和 60 年 4 月 3 日

大阪臨床整形外科医会研修会

坂本徳成 殿

日本整形外科学会教育研修委員会は下記のように貴会を日本整形外科学会教育研修会として認定致しますので何卒よろしくお願い致します。

## 記

認定番号 143

会の名称 大阪臨床整形外科医会研修会

代表者名 坂本徳成

開催日・開催時間 昭和60年5月18日（土） 15：00～17：00

開催場所 大阪商工会議所

認定単位 1単位

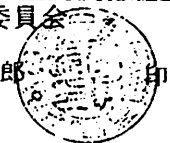
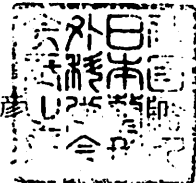
備考

社団法人 日本整形外科学会

会長 赤星義彦

日本整形外科学会教育研修委員会

委員長 小野啓郎



## 原稿募集

次号（第3号）昭和60年12月発行予定です。日頃臨床経験、診療上の工夫、学会研修会印象記・O C O Aに対する意見要望・医業経営・医政に関する御意見・随想・趣味等々いづれでも結構です、奮って御投稿下さい。

（送り先：O C O A事務局）

## 編集後記

昨年10月からの社保本人1割負担、本年3月からはまた繁用薬価の引き下げと、医療経済情勢は益々きびしさを加えて参りましたが、O C O A会員の皆様何如対処なされていますか。

O C O A会報第2号をお届けします。当初はO C O A News と会誌の両立で発行する予定でしたが、J C O A News との重複記事、原稿の集り具合や、東京都や近隣臨床整外医会の会報も参考として、当分O C O A会報として年2回発行することとし、表紙もつけて内容の充実を計る事になりました。2月に会員の皆様に原稿を募集しましたが、期間も短かく、又健保点数、薬価の改正もあって御多忙でもあり、残念ながら一般会員の投稿はありませんでした。次号は各個別に会員の皆様に御依頼してはとの声もあり、出身大学別にお一人ずつでも順番に御投稿をお願いするとか、会員の誌上自己紹介をしていただければ等と考えておりますのでその節はよろしくお願い申し上げます。

昨年のO C O A一泊旅行では観光組二人の内お一人が親戚の御不幸で急に参加出来なくなり、とうとう私1人タクシーで観光する羽目になりましたのであわててゴルフの練習を始めました。それでも宴会、往復の車中ワキアアイ実には愉快な旅行でした。本年は是非大勢で旅行したいと願っております。

（瀬戸 信夫記）

## 大阪臨床整形外科医会会報 第2号

昭和60年4月30日印刷  
昭和60年4月30日発行

発行所 大阪臨床整形外科医会事務局  
〒541 大阪市東区安土町2-30  
大阪国際ビル16F  
坂本整形外科内 電話(06)266-0666

編集者 坂本徳成・三橋二良  
大橋規男・瀬戸信夫





# 炎症性疼痛に

## ■作用特性

- 鎮痛作用, 抗炎症作用ともに強い
- 消化管潰瘍形成作用が弱い
- 経口投与で吸収速やか
- 炎症部位への移行性が高い

## ■効能・効果

下記疾患ならびに症状の鎮痛・消炎

変形性関節症, 頸肩腕症候群, 腰背痛症

下記疾患の鎮痛・解熱

上気道炎

外傷ならびに手術後の鎮痛・消炎

## ■薬価基準収載

※用法・用量, 使用上の注意, 取扱い上の注意等は添付文書をご参照ください。

鎮痛・抗炎症・解熱剤

# トレクチン®

TOLECTIN®

①② トレクチン錠100mg

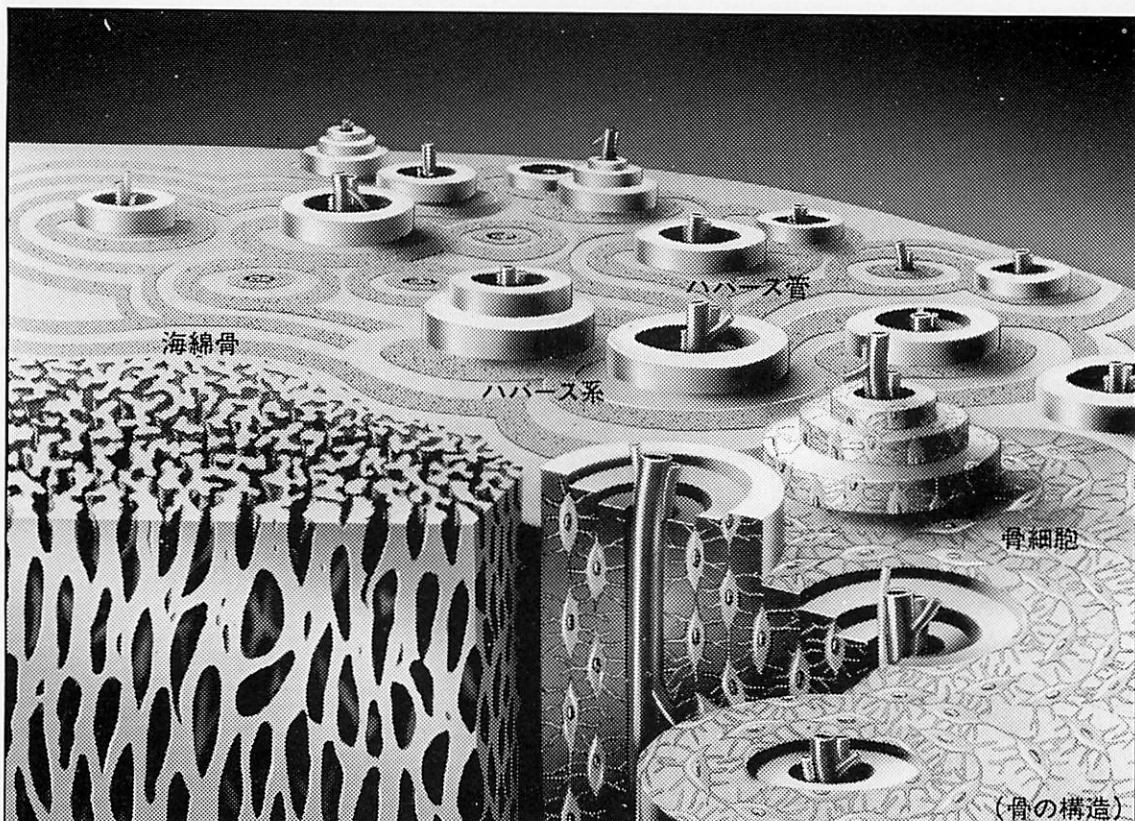
①② トレクチン錠200mg

(トルメチンナトリウム錠)



## 大日本製薬

大阪市東区道修町3-25  
提携 マクニール社(米国)



# 骨粗鬆症の治療に



**〔適応症〕**

- 骨粗鬆症(カプセル3μgは除く。)
- 下記疾患におけるビタミンD代謝異常に伴う諸症状(低カルシウム血症、テタニー、骨痛、骨病変等)の改善。  
慢性腎不全、副甲状腺機能低下症、未熟児(液のみ)、ビタミンD抵抗性クル病・骨軟化症

**〔包装〕**

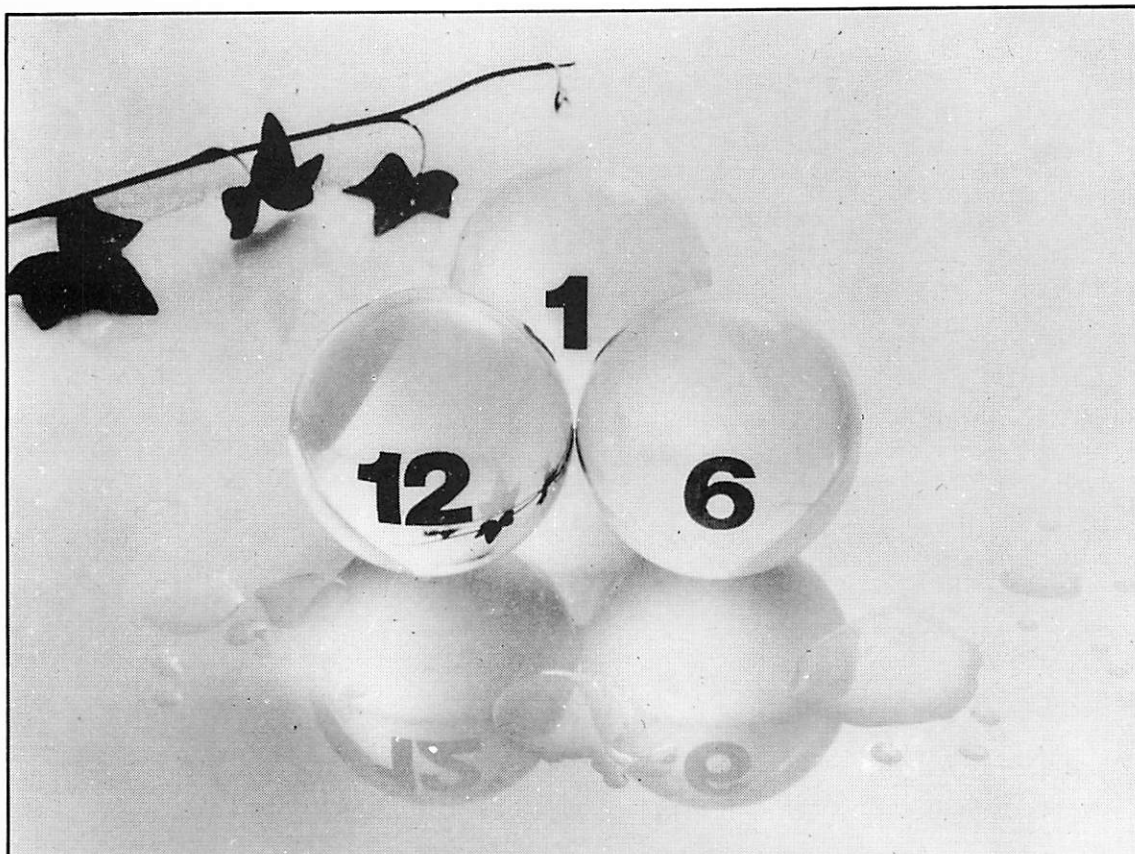
- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| カプセル0.5μg:100,500カプセル | 液0.5μg:10ml |
| 0.25 μg:100,500カプセル   |             |
| 1μg:100,500カプセル       |             |
| 3μg:100カプセル           |             |

■「使用上の注意」、用法・用量」は添付文書をご覧ください。



中外製薬

〒104 東京都中央区京橋2-1-9  
TEL (03) 281-6611



# 水溶液で安定！V・B<sub>1</sub>、B<sub>6</sub>、B<sub>12</sub>

神経・筋機能賦活剤

## ネオラミン®スリービー液

静注用

健保適用

### 1. 総合的な神経機能調整作用

各成分の協力作用により、各種神経疾患に対し鎮痛効果と機能の正常化をはかります。

### 2. 生体全般の諸機能賦活作用

各成分の作用により、エネルギー代謝と物質代謝を活発にして、全身状態の改善に有効であります。

### 3. 抗貧血作用

本剤中のヒドロキソコバラミンは悪性貧血をはじめ、各種の貧血症状を呈する疾患に有効であります。

### 〔適応症〕

下記疾患のうちビタミンB<sub>1</sub>・B<sub>6</sub>・B<sub>12</sub>の代謝障害が関与すると推定される場合。

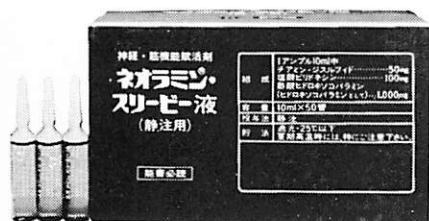
■神経痛 ■筋肉痛、関節痛 ■末梢神経炎、末梢神経麻痺 ■糖尿病時の末梢神経症状の改善、アルコール中毒性神経炎 ■ウェルニッケ脳炎 ■脚気衝心 ■悪性貧血、栄養性貧血、寄生虫性貧血 ■栄養不全

なお、効果がないのに月余にわたって慢然と投与すべきではありません。

### 〔包装〕

10ml：5管・10管・50管

\*用法・用量・使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。



日本化薬株式会社

医薬事業部 東京都千代田区一番町15-5  
TEL 03(264)1251